

「あたたかな人間関係づくり」を基盤とした教育活動の推進 ～「自分大好き」「友達大好き」な児童の育成～

～5年4組・6年1組・6年2組 授業訪問～

学習規律「須恵ースタANDARD」の実施状況確認のための授業訪問で、今日は5年4組、6年1組、6年2組の訪問を行いました。

学習規律「須恵ースタANDARD」の確認のための参観ですが、どの学級も日頃から「物がまえ」「心がまえ」「身がまえ」の指導が行き届いており、子ども達にとって「学びがい」のある学習が展開されています。

5年4組では学級活動で長縄に挑戦しています。「G(ゴール):目標設定」「C(チャレンジ)目標設定に支えられた挑戦」「R(リフレクション)振り返り」というGCRサイクルを繰り返す学習が展開されており、子どものやる気を引き出す教師の言葉かけが、子ども達のやる気により一層火をつけています。皆で一つのことを目指し達成していく充実感が感じられます。

6年1組では、算数で「組み合わせ」の学習を行っていました。解決のヒントとなるプリントを自分で自己選択し(使わない子どももいます)追究を進めていました。やらされる学習から、自分で取り組む主体的な学習に変えていこうとする担任の先生の意図が感じられます。

6年2組では、社会において奈良・平安時代を学習する上での学習計画を立てる学習が行われていました。互いの考えを尊重し学び合う姿勢が育っており、熱心に自分の考えを伝える子どもの姿を多く見ることができました。



5年4組：一人一人の目標設定



5年4組：やる気を引き出す言葉かけ



6年1組：自己選択のある学習



6年1組：集中した思考



6年2組：協働的な学びの場の充実



6年2組：考えが認められる学習